

医療面接入門 Medical Interview

薬：K1-19101MY、生命：K1-19101MS

素養科目 1、2、3 年／前期または後期 1 単位 選択科目

科目責任者 町田 いづみ(医療コミュニケーション学研究室)

■教育目的

本科目は、将来、臨床薬剤師として医療面接を行なう際に必要な知識・技能・態度の基礎作りを目的とする。効果的な薬物治療を実行するためには、患者との医療面接は必要不可欠である。

しかし、面接に関する知識や技能、さらに、治療者としての認識や態度は、座学だけで習得することは難しい。そこで、講義に加えて、演習を取り入れ、知識・技能・態度をバランスよく、かつ効果的に学習していく。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、④ SD-④】

■学習到達目標

- ・薬剤師の役割について理解する(知識、技能、態度)
- ・医療場面で求められる「コミュニケーション」について正しく理解する(知識、技能、態度)
- ・安全で最適な薬物治療を提案するために適切な患者情報を収集する(知識、技能、態度)
- ・収集した情報を基に患者の状態を正しく評価することができる(知識、技能、態度)
- ・評価した内容に基に個々の患者に適した薬物療法を提案する(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

復習：講義内で扱ったテーマや SGD の課題について再考察する(30 分以上)。

予習：演習の中で扱う疾患や薬物等について予習する(30 分以上)。

■授業形態

ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習・フィールドワーク、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	薬剤師のための医療面接の基礎 ①	薬剤師の仕事ってなに？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
2	薬剤師のための医療面接の基礎 ②	患者-薬剤師間のコミュニケーションってなに？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
3	薬剤師のための医療面接の基礎 ③	相手の全体像を理解する-この人はどんな人？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
4	薬剤師のための薬物治療の基礎	薬物治療のプロセスについて学ぶ—薬物治療はどうやるの？	A(1)-①-1～4 A(1)-②-1～6 A(1)-③-1～5 B(4)-①-4 E3(2)-②-3
5	情報収集	乾燥性皮膚炎と水虫(白癬菌)について調べ、治療者としての知識を蓄える。	E3(2)-①-1 E3(2)-②-3
6	パンフレットの作成の準備	症例作成を通して、患者向けパンフレットに記載すべき情報を吟味する。	E3(2)-①-1 E3(2)-②-3
7	パンフレットの作成	講義 5-7 で得た知識をもとに、乾燥性皮膚炎、及び、水虫に関する患者向けパンフレットを作成する。	A3(1)-①-1～9 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3
8	医療面接のプロセスを理解する	乾燥性皮膚炎と水虫症例をもとに、患者の状況を評価し、治療的介入方法を検討する(SGD)。	A3(1)-①-1～9 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3

No.	項目	授業内容	SBO コード
9-13	医療面接演習	乾燥性皮膚炎症例と水虫症例	A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3
14-15	DVD「薬剤師物語」の視聴	薬剤師物語(DVD)の視聴し、将来の薬剤師像を明確にする。	A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2

■ 授業分担者

前期:町田いづみ(No.1～15)、永井 純子(No.4～15)

後期:町田いづみ(No.1～15)、永井 純子(No.4～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

成績評価

6 割以上の出席とレポート提出を必要とする。

課題(全 8 課題)レポート(50 %) レポートへの取り組み・SGD への参加態度(25 %) 薬剤師役としての演習・観察者としての参加態度(25 %)

■ 教科書

必要な資料は授業毎に配布する。

■ その他

演習・SGD を中心とした授業のため、全出席を基本とし、積極的な参加を希望する。